

令和 6 年度 第 2 回 笠井小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和 6 年 10 月 11 日（金）9 時 00 分から 11 時 10 分まで
- 2 開催場所 笠井小学校 2F 会議室
- 3 出席委員 森下律子、市川規子、石神好洋、佐藤剛、高林直子、
寺田達弘、浅野佑一
- 4 欠席委員 松本久和
- 5 オブザーバー 高林修（市議会議員）、鈴木真人（市議会議員）、
小林剛（笠井協働センター）
- 6 学校 伊藤美香（校長）、杉山貴和（教頭）、
小木大輔（教務主任）、氏原志穂（CS ディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 氏原志穂

9 議長の選出

司会から、事前選出において、佐藤委員に御推挙いただいた旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

（1）キャリア教育の推進について

11 会議記録

司会の杉山（教頭）から、委員総数 8 人のうち 7 人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

司会杉山（教頭）から佐藤委員へ交代

委員の皆さんには、授業参観後熟議していただいた。

（1）キャリア教育の推進について

- ・家庭科学習のトートバッグの作りにミシンボランティアの保護者や、地域の方々が参加していた。参加募集の際、さくら連絡網を使って保護者等に呼びかけ周知してくれているのが良いと感じた。（森下委員）
- ・階段の踊り場にある掲示や、黒板等に笠井小キャリア教育 4 つの力の「わかる力」「見つめる力」「挑戦する力」「つなげる力」の絵が貼ってあり、具体的で分かりやすいと感じた。（市川委員、石神委員）
- ・4 年生算数の学習では、グループで相談し合いながら面積の求め方を考

えていたのはとても良いと思った一方、一人でやっている子がいるのが気になった。(寺田委員、浅野委員)

- ・主体的な学びの中で、担任が分かっている自発的にグループで相談しながらやりたいのか、一人でやりたいのかその時の状況により見届けていてできていて子供の気持ちを大切にしながら進めている。(小木教務)
- ・「グループ」「一人で」「終わった子同士で」等選択して話し合う事で子供達同士良い刺激になっていたように思う、自分たちの時代とは違った良い発想だと思った。(石神委員、寺田委員、浅野委員)
- ・外国語の学習は、中学のような教科担任制でないのに文法や、つづりを教えるのも大変に思う。また、外国語の内容が世界環境にも触れていてレベルの高さを感じた。(石神委員、佐藤委員)
- ・なりたい自分を 4 コマ漫画で表したイラストに将来の夢が描いてあり、身近な挨拶ができるようになるなど、子供達なりに起承転結を考えて書けていた。(石神委員)
- ・生き生きした先生の指導力を見ました。子供達に分かってもらいたいという先生方の姿勢が伝わってきた。(高林委員)
- ・どの子も学校が楽しいと思えているか、楽しいと思える学校にしてほしい、その為にできることを協力したい。(高林委員)
- ・連合自治会長、民生委員、PTA 会長等多種多様な役職の委員がいるので協力し合いみんなで学校を盛り上げたい。(森下委員、市川委員、石神委員、佐藤委員、高林委員、寺田委員、浅野委員)
- ・もっと協力できる運営委員会の組織でありたい、学校からの要望を話し合い、そのためにどうしたら良いかをもっと一緒に考えたい。(高林委員)
- ・学校運営協議会が学校と地域の情報を共有して話し合いを深めていく場になったらよい。(森下委員、市川委員、石神委員、佐藤委員、高林委員、寺田委員、浅野委員)
- ・よりよい笠井小学校になるように委員同士、協力して取り組んでいきたい。(森下委員、市川委員、石神委員、佐藤委員、高林委員、寺田委員、浅野委員)

12 連絡事項

司会から、次回は 2 月 21 日(金) 9 時 00 分～10 時 30 分に第 3 回学校運営協議会を開催する旨の報告があった。